

2024年1月4日

報道関係各位

一般社団法人日本少額短期保険協会
東京都中央区八丁堀三丁目12番8号
HF 八丁堀ビルディング2F
会長 渡邊 圭介

日本少額短期保険協会 2024年 協会長年頭所感

はじめに、年頭に発生した令和6年能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被害を受けられた皆様が、一日も早く安心して過ごせる生活を迎えられるよう、私たち少額短期保険業界は、保険事業者としての役目を果たし、復興の一助となるよう尽力してまいります。

昨年は、ウィズコロナからアフターコロナへの転換を迎え、かつての活気ある日常を取り戻されたと実感された方も多かったことと思います。

保険に携わる者として、コロナウイルスの流行というこれまでに経験したことのない困難・不安を乗り越えた皆様が、これからも健やかに過ごすことができるよう、安心をご提供することが我々の使命であると感じた1年でもありました。

当業界を振り返りますと、2023年中間期末において、保有契約件数は前年比7%増の1,115万件となり引き続き順調に成長軌道を歩むことができております。これも一重にお客様からのご支援によるものであり、厚く御礼申し上げる次第です。

こうしたお客様からのご期待にお応えし、より一層身近で信頼される業界となるために、2022年度に「第二次中期3か年計画」を策定し、全会員会社が一丸となってその実現に注力してまいりました。昨年は、業務品質向上と教育環境の改善に資する協会独自の業務支援ツールを開発・運用開始するとともに社会課題に対する対応の一環として孤独死対策の取組み推進や認知症サポーターの養成拡大等、確実な成果を残してきております。

中期3か年計画の最後の年となる本年は、計画遂行のための集大成の1年と位置づけ、更なる業界の発展・飛躍のため下記3つのビジョンの実現を推し進めてまいります。

— 第二次中期3か年計画 3つのビジョン —

ビジョン1 ガバナンス・コンプライアンスを一層強化し、真にお客様の信頼を得たリスクの担い手として評価される業界になる。

ビジョン2 ユニークで独創的な商品を提供し続けることでお客様に認知され役に立つ存在になる。

ビジョン3 少額短期保険業界のあるべき姿に係る提言内容を実現し、お客様の利便性向上とともに、会員各社が業務革新を進め円滑に業務を遂行できる環境を整備する。

業界誕生から17年を数え、国民の皆様の10人に1人が少額短期保険を契約いただいている規模に成長しましたが、これからも保険事業者としての責任が日増しに大きくなっていくことを認識し、その責任を果たすべく努力を続けてまいります。

最後になりましたが、国民の皆様にとって本年が多幸な年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。